



時代をこえて愛され続ける
保護殺菌剤。

グリーンダイセン[®]M 水和剤

畑作用殺菌剤

耐雨性に優れる保護殺菌剤。

本剤は独自の製剤技術「レインシールド[®]」テクノロジーによって安定した防除効果を発揮し、時代を超えて愛され続ける保護殺菌剤です。有効成分「マンゼブ」は病原菌の細胞のエネルギー生産過程の複数ヵ所に作用するので、病原菌による薬剤耐性を発達させにくい殺菌剤と考えられています。ばれいしょ、てんさいの防除では、無人航空機による散布が可能です。

耐雨性に優れます。



日産化学

[®]は登録商標

グリーンダイセン[®]M 水和剤

特 長

▶ 極微粒子で、安定した予防効果!

▶ 耐雨性にも優れる独自の製剤技術「レインシールド[®]」テクノロジー採用!

▶ 耐性菌発生のリスクが低い!

■適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍率	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マンゼブを含む農薬の総使用回数	
ばれいしょ	疫病	100倍	25ℓ/10a	収穫7日前まで	10回以内	散布	10回以内 (無人航空機散布は3回以内)	
	疫病、夏疫病	400～600倍	100～300ℓ/10a		3回以内	無人航空機による散布		
		8倍	3.2ℓ/10a					
		5倍	1.6～2ℓ/10a					
てんさい	褐斑病	125倍	25ℓ/10a	収穫21日前まで	5回以内	散布	5回以内	
		400～600倍	100～300ℓ/10a			無人航空機による散布		
		5～8倍	1.6ℓ/10a					
		10倍	3.2ℓ/10a					
たまねぎ	べと病、さび病、黒斑病、灰色かび病	400～600倍	100～300ℓ/10a	収穫3日前まで	6回以内	散布		
	白色疫病	400～500倍						
アスパラガス(露地栽培)	茎枯病、斑点病	500倍		収穫終了後(但し、秋期まで)			6回以内	6回以内
あずき	茎疫病、さび病			収穫30日前まで			3回以内	3回以内
だいず	べと病	400倍		収穫45日前まで				
すいか	炭そ病、べと病、つる枯病、疫病、褐斑細菌病	400～600倍		収穫7日前まで			7回以内	7回以内
メロン	炭そ病、べと病、つる枯病、疫病、斑点細菌病				5回以内		5回以内	
かぼちゃ	炭そ病、べと病、つる枯病、疫病	600倍		収穫21日前まで	2回以内		2回以内	
キャベツ	べと病	400～600倍		収穫30日前まで	3回以内		3回以内	
はくさい	べと病、白斑病、黒斑病	600倍		収穫30日前まで	1回		1回	
ねぎ	べと病、さび病、黒斑病			収穫14日前まで	3回以内		3回以内	
きゅうり	炭そ病、褐斑病、疫病、黒星病、つる枯病			収穫前日まで				
	べと病			600～800倍				
にんじん	黒葉枯病	400～600倍		収穫7日前まで				

■グリーンダイセンの注意事項

▲ 使用上の注意

- 石灰硫黄合剤、ボルドー液などのアルカリ性薬剤、チオジカルブ剤との混用はさけてください。
- ボルドー液などとの連用は葉害のおそれがあるので、7日以上散布間隔をおいてください。
- ばれいしょに使用する場合、極端な高温多湿条件下では、軟弱幼苗に葉害のおそれがあるので注意してください。
- ばれいしょに対して希釈倍率100倍、てんさいに対して希釈倍率125倍で散布する場合は、少量散布に適したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用してください。

▲ 安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布液調製時及び散布の際は保護メガネ、農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗顔・うがいをするのと同時に衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物などとの接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池などに飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 本剤は吸湿しやすい条件下では分解して効果が低下するので、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 防除日誌を記載しましょう。
- 空袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。